

項	No.	評価項目内容	回答数 222		合計				グラフ	
				平均	4	3	2	1		
豊かな心	1	お子さんは、安心して楽しく学校に通っている。	豊かな心	1	3.4	102	114	5	0	
	2	お子さんは、友達と仲良くしている。		2	3.4	82	137	3	0	
	3	お子さんは、学校の決まりを守っている。		3	3.3	70	142	10	0	
	4	子どもたちは、明るく元気にあいさつができています。		4	3.1	49	139	32	2	
	5	子どもたちは、正しく思いやりのある言葉を使っている。		5	2.9	20	151	51	0	
	6	学校行事や体験活動を通して、子どもに豊かな心がはぐくまれている。		6	3.2	55	153	14	0	
	7	道徳教育や人権教育により、子どもに相手を大切にできる心（思いやり）が培われている。		7	3.1	46	155	21	0	
	8	学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができています。		8	3.1	46	153	22	0	
確かな学力	1	お子さんは、意欲的に授業に取り組んでいる。	確かな学力	1	3.1	46	151	25	0	
	2	お子さんは、授業が楽しく、分かりやすいと思っている。		2	3.0	47	137	38	0	
	3	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。		3	2.8	34	124	51	13	
	4	お子さんは、読書習慣が身に付いている。		4	2.4	26	66	92	37	
	5	子どもたちに考える力や、作文・発表などの表現する力が培われている。		5	2.6	17	109	92	4	
	6	学校は、一人一人の学力を伸ばすように努力している。		6	3.0	35	156	30	0	
たくましい心身	1	お子さんは、運動をしたり手伝いをしたりして体をよく動かしている。	たくましい心身	1	3.0	54	114	50	4	
	2	お子さんは、手洗い、歯磨きなどの習慣が身に付いている。		2	3.1	54	128	39	1	
	3	お子さんは、食事マナー（いただきます、ごちそうさま、姿勢など）が身に付いている。		3	2.9	40	133	46	3	
	4	お子さんは、「早寝、早起き、朝ごはん」を心掛けて生活している。		4	3.0	46	128	45	3	
教育環境	1	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されている。	教育環境	1	3.1	45	162	11	2	
	2	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいる。		2	3.2	52	159	9	0	
	3	先生は正しく適切な言葉を使用し、子どもにも正しい言葉使いの指導を行っている。		3	3.2	64	143	13	0	
地域と学校に	1	学校は、学校の教育方針や教育目標などを分かりやすく示している。	開かれた学校づくり	1	3.1	48	155	17	0	
	2	学校は、教育活動等についての情報発信（学校だより、学級通信等）ができています。		2	3.4	91	123	7	0	
	3	学校は、地域人材や教材を活用した特色ある教育活動を展開している。		3	3.2	49	158	13	0	
	4	学校は、学校評価の結果を踏まえ、教育活動等の改善に取り組んでいる。		4	3.1	45	157	19	0	
	5	先生は、保護者など外来者への対応がよい。（あいさつなど）		5	3.4	84	132	5	0	

1月に行いましたアンケート結果についてお知らせすると共に、職員で課題を共有・整理して次年度の教育活動に生かしたいと思っております。

保護者の意識で、昨年のアンケート結果と比較すると、「子供は授業が楽しくわかりやすいと思っている」、「子供たちに考える力や表現する力が培われている」、

「学校は、一人一人の学力を伸ばすように努力している」の項目について1ポイント下がっています。子供たちにとって担任が「わかる授業」を展開することは必要不可欠という視点に立ち返り、結果を真摯に受け止め改善に向け努力する必要がありますが、学力については下記でお示ししますように、全体的に昨年より伸びていることがわかります。保護者の方にも、子供たちの学びの様子をわかりやすく発信していく必要もあると考えています。

【確かな学力について】

「熊本県学力・学習状況調査」（3年生以上対象）の結果、本校の国語と算数における学校全体の平均正答率は71.6%でした。これは、熊本県の平均正答率71.1%を若干ですが上回っています。昨年は本校全体の平均正答率が、県の平均正答率を1.1%下回っていたことに比べると一定の成果は上がったと捉えることができます。学年別の平均正答率で見ると、特に3年生の算数、5年生と6年生の算数に大きな伸びが確認されました。さらに、教科別に見ると、算数は、本校平均正答率74.5%に対して県は70.9%で約4ポイント上回る事ができています。これは、子供たちが、普段から授業中に、よく聞き・しっかり考え・たしかに表現したことと家庭学習で粘り強く反復練習した結果だと思えます。また、家庭学習を支えてくださった保護者の皆様のご理解とご協力によるものと考えています。今後とも、お子様の学力向上のために、ご家庭と連携・協力した取組を行っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

ただ、昨年度からの課題である国語科の「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」については改善につながっていない現状がありますので職員全体で課題克服につながる学習指導について引き続き研究して参りたいと思います。

【「豊かな心」の育成について】

「子供は、明るく元気にあいさつしている」と、「子供は、正しく思いやりのある言葉を使っている」の項目が1ポイント上がっています。今年度も礼儀正しく、立ち止まって挨拶をする指導の徹底に取り組んだ結果が現れているようです。学校運営協議会でも、校外での子供たちのあいさつが良くなったとお褒めの言葉をいただけるようになりました。ただ、校内の子供たちの言語環境や学校生活等を省みると、休み時間など子供たちだけで生活したり遊んだりする場面では、言葉が荒くなって喧嘩やトラブルもありました。道徳科や人権学習等を通して他人を思いやる気持ちを育て、豊かな心を育ませたいと思います。ご多用の中、アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。